

ゾーン整備事業 (仮称) さきたま市場

梁 瀬 里 司 (黎明21)

整備 予定/物産販売・飲食販 観光消費の拡大や滞在時 かし、本市物産品の販売 ているが、どのようなこ や観光情報の発信により、 とを期待しているのか。 る行田おもてなし観光局 て、市では整備主体であ 0平方メートル)につい 売・観光案内/建物20 に補助金の支出を予定し 観光局の専門性を生 (仮称) さきたま市場 (令和5年4月開業

間の延伸、観光地として の認知度向上につながる ことを期待している。 売り上げはどの程度

込んでいる。 問 軽食販売は、行田の 年間約5千万円を見

販売は、施設の魅力を高 えるが。 子やフライ、ゼリーフラ 答 本市ならではの軽食 イなどの販売も必要と考 グルメ、例えば行田の餃

見込んでいるのか。

肢としている。 ジナル商品であり、 田の餃子は観光局のオリ め集客にもつながる。

に向けて 市内危険個所等の解消

えるがどうか。 らよいのではないかと考 てもらう仕組を構築した 災害などの写真等を送っ 旨で、市民の方に道路の 危険個所や遊具等の破損 まちを点検してもらう趣 している昨今、ICTを トフォンを日常的に利用 多くの市民がスマー 市民の安全のため、

とは重要と考える。今後 活用して気軽に情報提供 調査研究していく。 できる仕組を構築するこ

[その他の主な質問]

課題解決)の取組 (広場) の活用 ○シビックテック(行政 (駐車場の確保 各消防団消防庁舎の団 JR行田駅隣接私有地



第6次総合振興計画について (仮称) さきたま市場と

高 橋 弘 行 (市井悠々)

明してほしい。 を創出する経営戦略を説 経営健全化のため、利益 ら、(仮称) さきたま市場 済していく。その観点か が、借入金は利益から返 月に開店する予定である の借入を行い令和5年4 中金融機関より2千万円 0万円、計5500万円 駐車場等の整備に350 行う「行田おもてなし観 おもてなし観光局は、市 店舗建物の建築のため、 の税金を投入する。また、 光局」に補助金2千万円 について、市は、運営を (仮称) さきたま市場

千万円の収入を見込んで 産品や軽食販売で年間5 作成中である。施設の物 現在具体的な事業計画を 田おもてなし観光局」で 整備主体である「行

は122号沿線に大型店 興計画について、羽生市 第6次行田市総合振

駐車台数3千台、120 業支援はあるのか。 では行田市は道路新設 年に着工する。空いた場 ら60億円をかけて、駐車 25号の接点に「熊谷市 ンする。さらに深谷駅前 店舗が入る「アウトレッ が出店、深谷市は花園に 沿線開発、都市整備、 ストコがオープンする。 また、群馬県明和町につ 所にはAー企業を誘致。 道の駅」と流通センター 谷市も国道17号と国道1 ズ・ベイシアが開発、能 が移る計画、本庄市は木 台数400台で2024 圧早稲田の駅前にカイン にガリガリ君の本社機能 ト」が今年9月にオープ にある青物市場が約50か

計画はない。 再開発、区画整理事業の 議中で、都市再生整備や 現在、沿線開発は協

(その他の質問

○コロナ対策について



行田市ゼロカーボンシティ の実行計画について 吉 野

修

(黎明21)

流れを受け、令和4年1 月5日、宣言を表明した。 ●宣言の表明方法 本市は「脱炭素化」の

明すべきだったのでは。 問で宣言の表明を促した 報により周知した。 として21番目の宣言であ 者会見など公式の場で表 昨年12月定例会の一般質 LINEなどのほか、 行わず、市ホームページ、 報道機関への情報提供は とを考慮し、記者会見や 姿勢を示す宣言であるこ ることや今後、取り組む 方法をもとに、県内の市 ことから、所信表明や記 て電子メールで知った。 環境省が示している 宣言の表明は議員あ

●実行計画の策定

創エネルギーの普及促進 を、2050年とし、官 ①省エネルギーの推進② 言に関する取組として、 ボンシティ」の実現目標 宣言では「ゼロカー

> 和6年度から始まる第3 な調査により二酸化炭素 せていく。今後は全庁的 予定はないが、各部署に に具体的な施策をまとめ の4項目を掲げている。 ③ゼロカーボンドライブ な施策として盛り込んで 削減の取組を集約し、 おいて、できることから むことにしてはどうか。 計画に実行計画を取り込 定が必要だ。その手法と 工程を作り予算化し進行 今後はこれらの取組ごと の普及④自然環境の保全 いきたい。 次環境基本計画に具体的 しては、本市の環境基本 管理を行う実行計画の策 づく実行計画を策定する 一酸化炭素削減を加速さ 現段階では宣言に基

[その他の主な質問]

業の実施結果について 環境への影響について)キャッシュレス還元事 太陽光発電施設の生活